



秋晴れの候、みなさまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
緊急事態宣言が9月30日まで延期され、経済は停滞し、我々の精神的ストレスも爆発しそうな状況が続きますが、早く平常の生活へ戻れることを祈るばかりです。
今回は、9月7日~9月24日で開催された令和3年第6回三原市議会定例議会の状況を中心にみなさまにご報告致します。

1. 三原市議会の YouTube 配信開始



9月定例議会より、本議会の模様がYouTube配信されます。議案や一般質問、審議結果報告などが簡単にいつでも視聴できるようになりました。三原市議会のホームページから、また検索エンジンから検索して入ることができます。みなさん活用してください。

2. 9月定例議会一般質問で問う

9月の定例議会の一般質問は、次の2件について行いました。以下に一般質問の要点を示します。詳細はYouTube、後援会ホームページ、市議会だよりをご覧ください。

(1) 遊休公共施設等の利活用促進について

※ 人口減少に伴い、廃校が本市にも数多くありますが、残念ながら十分に活用されずに放置されているものがほとんどです。このまま放置すれば維持管理費と解体費用が財政を圧迫するのは明白であり、民間活用の門戸を広げるように提言した質問です。そのためには現状の条例を変える必要があり、新たな活用促進条例の制定を提言しました。⇒ 年度内に条例制定予定です。

(2) 空き家を活用した移住者の受入れについて

※ コロナ禍で地方回帰が進む中、“空き家バンク”を活用した移住者受入れが他市では活発です。本市の“空き家バンク”は登録数が少なく、十分に機能していません。登録数を増やすために何をすべきか、また、町内会と連携した官民一体での移住受入れ体制の必要性を提言しました。

3. 議会トピックス

◆ 豪雨災害に強いまちへの転換政策が必要

7月8・9日と8月12~18日の豪雨で、再び災害が発生しました。異常気象により豪雨災害の規模・頻度が明らかに増えています。復旧に追われ、対策強化策まではなかなかできない状況ですが、少なくとも河川の氾濫は二度と起こさないための治水対策強化を訴えています。



(7月8日和田筆影登山道)

◆ “(株)空・道・港” (DMC) 事業進捗報告

令和2年度から本格的な活動をスタートした“(株)空・道・港”の事業進捗報告がありました。4年間で約5億円を国(1/2)と市(1/2)で補助をして、本市の観光体制を整備する事業です。コロナ禍で厳しい状況ですが、三原に新たな経済効果を波及させる事業として期待されます。

◆ 三原市内港再生基本計画の策定について

現在、内港再生基本計画の策定が進められています。コンセプト及び基本方針の検討が有識者審議会が進められていますが、7月の豪雨災害で遅れ、議会へは7月から12月の原案説明に変更となりました。計画策定後は、県へ提出し実施計画の策定となりますが、**本市の今後の活性化を左右する重要な施策であり、期待できる内容となるよう慎重に審議していきます。**

◆ 水道事業の広域連携について

県と県内の市町が水道事業を統一する「県内1水道」構想で、広域連携を担う企業団設立準備組織への参加を本市は4月に表明しています。ところが、県内給水人口の約8割を占める広島・福山・呉など主要6市町が不参加としたため、**県内1水道構想は既に崩れています**が、検討が必要だとし、議会は参加を承認して検討結果の報告待ちの状況です。本件は、将来の本市の水供給に関わる重要な案件であり、**脱退も含め慎重に審議**をしていきたいと思っております。

◆ 下水道事業の状況について

下水道事業の汚水にかかる国からの補助金がなくなるため、マイナス分を補うための大幅な料金の値上げが検討されています。市内約5割の下水道を使用する市民への大幅な負担増になるため、**政策的な補助の必要性**を市長に訴えています。

4. 活動報告 & お知らせ

(1) 避難情報の対象区域の表記が地域名に変更

10月から避難情報の対象区域に使われる表記が、旧小学校区から地域名に変更になりました。これで、分かりやすくなります。

(2) 水防法に基づく高潮浸水想定区域変更

最大規模の台風(910hpa)による高潮浸水想定区域が公表され、沼田川決壊を想定して浸水エリアが以前より大幅に拡大しました。中心部は壊滅的となります。南海トラフ地震による津波発生を想定した高台への事前避難を考えましょう。新たにハザードマップに追加されます。



(3) キャンピングカーの聖地を目指して実証実験がスタート

県に採択された“キャンピングカー旅でニューノーマルな観光スタイルの実証へ”が、10月に市内でモニター実験されます。市内でキャンピングカーが至るところで見られるようになります。

(4) “広島県ゆかりのアスリートたち”展で池田敬子さんと!

7月10日からリージョンで開催された企画展で、初日に池田敬子講演会が開催されました。展示室には広島県ゆかりのオリンピックのメダルやユニフォーム等が多数展示され、本市ゆかりのオリンピックが大勢おられることに驚きです!



(ユニフォームの説明をする池田敬子さん)

(5) 安芸高田市と北広島町の歴史館を視察調査

“三矢の訓”で連携する安芸高田市と北広島町の歴史資料展示に関する視察調査に行きました。いずれの市町も立派な歴史館を構え、郷土の歴史を学べるようになっています。長い歴史を持つ本市ですが、**郷土史の整備遅れは明白**で、今後、歴史文化資料館の刷新の必要性を強く訴えて行きます。



(北広島町戦国の庭歴史館の内部)

5. あとがき

三原市は人口10万人規模のインフラを整備したまちです。ところが人口減少が進むと、10万人規模のインフラの維持が負の遺産化し、住民への負担となって跳ね返って来る可能性があります。水道や下水道料金の値上げ、交通料金の値上げ、使わなくなった公共施設の解体費等、色々な面でしわ寄せが来ます。これを解消するためにコンパクトシティ構想がありますが、現実的には大変難しい課題を持っています。

本市の人口減は年1,500人を超え始めました。市長は人口減少対策をもっと前面に押し出した政策を打ち出して行くべきと思うのは、私だけでしょうか。



田中ひろき後援会

田中裕規
◇ プロフィール
- 1959年8月9日生
- 東京農工大学工学部大学院卒
- 元帝人(株)社員

皆様のご意見をお聞かせ下さい

<連絡先>
三原市港町三丁目16番13号
携帯: 090-7137-0440
Eメール: h.tanaka1@kem.biglobe.ne.jp
<https://www.tanakahiroki.info/>
<発行責任者> 武郷 康則

(ホームページ)

